

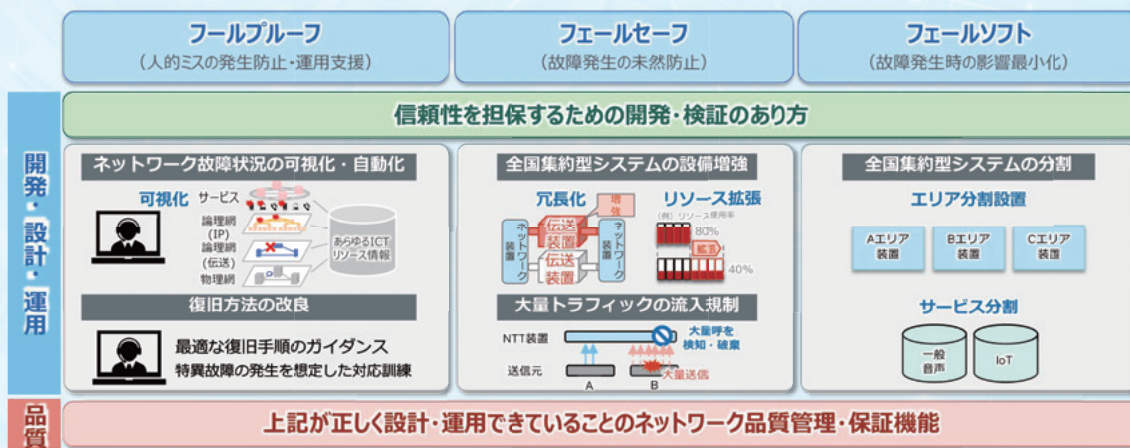
より強靱性の高いネットワークの実現に向けて

大規模な通信故障は日常生活や経済活動に甚大な影響を及ぼすため、より強靱性の高いネットワークが求められる。

本特集では、NTT研究所で推進するシステム故障に対して、ネットワークの抵抗力を高めることでサービス影響を抑止し、回復力を高めることで復旧時間短縮するロバストネットワークの実現に向けた取り組みについて紹介する。

強靱性の高いネットワークを支えるオペレーション 6

ネットワークシステム故障の耐性強化に向けたオペレーション技術を中心とした研究開発の取り組みについて紹介する。



ロバストネットワーク

NW-AI

通信ネットワーク

冗長設計

デジタルツイン

大規模システム故障時の「ネットワーク状況の早期把握」 — 11

複雑化・多様化するネットワークサービスのネットワーク状況とサービス影響の迅速な把握を可能とする研究開発の取り組みについて紹介する。

ネットワークの強靭化を実現する設計制御技術 — 13

ネットワークの信頼性向上を図るためのエンド・ツー・エンドの信頼性設計として、ネットワークの冗長化、制御プレーンの強靭化、エンド・ツー・エンド通信のロバスト化について紹介する。

障害に強いロバストネットワーク実現のための NW-AI自己進化フレームワーク — 17

NW-AI自己進化フレームワークのコンセプト、およびフレームワークの中でAI（人工知能）がどのように学習していくかについて紹介する。

主役登場 高橋 洋介（NTTネットワークサービスシステム研究所） — 20

高信頼で強靭なネットワークをめざして